

(様式6-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	静岡県における地震・津波から命を守る海岸づくりの推進 (防災・安全) 緊急対策											
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度					交付対象					静岡県	
計画の目標	東日本大震災による津波災害を踏まえ、今後発生が予想される東海地震及び東海・東南海・南海の3連動地震等から背後地で生活する県民の生命・財産を保護するため、海岸堤防の嵩上げ及び液状化対策、粘り強い構造への改良等を実施することにより、地震・津波に強い、安全・安心な県づくりを推進する。											
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> レベル1津波に対する津波対策施設 (海岸) の整備率を、H24末の0.0km (0.0%) からH29末に2.7km (11.7%)へ増加。【国土交通省水管理・国土保全局所管の海岸を対象】 海岸堤防の耐震化率を、H24末の0.0km (0.0%)からH29末に0.9km (10.8%)へ増加。【国土交通省水管理・国土保全局所管の海岸を対象】 											
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考
									当初現況値 (H24末)	中間目標値 ()	最終目標値 (H29末)	
①	レベル1津波に対する津波対策施設 (海岸) の整備率 (レベル1津波による災害から守られた海岸線の延長 (km) / 各地区の海岸で発生すると想定されるレベル1津波に対して防護すべき海岸線の延長 (km))								0.0km (0.0%)		2.7km (11.7%)	
②	海岸堤防の耐震化率 (海岸堤防の耐震化が完了している海岸線の延長 (km) / 海岸堤防の耐震化が必要な海岸線の延長 (km))								0.0km (0.0%)		0.9km (10.8%)	
③												
全体事業費	合計 (A+B+C)	6,340.百万円	A	6,120.百万円	B	-	C	220.百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	3.5%		

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ											
第2期 (H20~H24)						第3期 (H25~H29)					
分野名 安全・安心						分野名 安全・安心					
目標名 地震災害対策の推進						目標名 地震災害に強い基盤整備					
指標名 津波、高潮による災害から守られた海岸線の延長の割目標値 (H24) 56.30%						指標名 レベル1津波に対する津波対策施設 (海岸) の整備目標値 (H29) 15.3%					

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込 (備考欄に完成予定時期を記入、未定は空欄) -:その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等))
(計画期間中に他の整備計画に移行したもので、 ●:本計画の期間中に完成 ▲:本計画の期間終了後に完成見込 (備考欄に完成予定時期を記入、未定は空欄))

交付対象事業

A1 海岸事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考	
											H25	H26	H27	H28	H29				
A1-1	海岸	一般	静岡県	直接	-	高潮		吉佐美海岸 高潮対策事業	堤防嵩上げ、液状化対策	下田市						400.0	○		
A1-2	海岸	一般	静岡県	直接	-	高潮		沼津牛臥海岸 高潮対策事業	堤防嵩上げ、液状化対策	沼津市						1,020.0	△		
A1-3	海岸	一般	静岡県	直接	-	高潮		清水海岸 高潮対策事業	堤防嵩上げ	静岡市						200.0	△		
A1-4	海岸	一般	静岡県	直接	-	高潮		静岡海岸 高潮対策事業	堤防嵩上げ、液状化対策	静岡市						790.0	△		
A1-5	海岸	一般	静岡県	直接	-	高潮		相良海岸 高潮対策事業	堤防嵩上げ、液状化対策、水門自動化	牧之原市						3,150.0	△		
A1-6	海岸	一般	静岡県	直接	-	高潮		竜洋海岸 高潮対策事業	水門耐震化	磐田市						50.0	○		
A1-7	海岸	一般	静岡県	直接	-	老朽化		遠州灘沿岸 海岸堤防等老朽化対策緊急事業	老朽化対策、長寿命化計画策定	浜松市他						220.0	○	H26から移行	
A1-8	海岸	一般	静岡県	直接	-	老朽化		駿河湾沿岸 海岸堤防等老朽化対策緊急事業	老朽化対策、長寿命化計画策定	静岡市他						290.0	○	H26から移行	
											合計						6,120.0		

B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29				
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		

C 効果促進事業				直接 間接	事業 者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象							H25	H26	H27	H28	H29			
C-1	海岸	一般	静岡県	直接	-	施設整備	監視施設整備	監視カメラ	各市町						140	○	
C-2	海岸	一般	静岡県	直接	-	施設整備	事業効果等の周知	ホームページ、啓発標識、パンフレット	各市町						80	○	
合計														220			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-1	レベル1津波に対する防護機能が不足しており、基幹事業による対策を実施している海岸において、監視カメラを活用した状況監視により、津波来襲状況や沿岸部への影響を把握する。	
C-2	レベル1津波に対する防護機能が不足しており、基幹事業による対策を実施している海岸において、地震により想定される津波の高さや、海岸の現状と課題、対策の状況と効果など、津波対策に関する情報を地域住民へ周知するとともに、津波来襲時の避難行動に関する住民意識の向上を図る。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。
(参考) 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業
(別添「事業実施計画」参照)

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・レベル1津波に対する堤防高が不足する海岸堤防の高上工事を実施することにより、安全・安心な県土づくりを推進することができた。				
II 定量的指標の達成状況	指標① (レベル1津波に対する津波対策施設 (海岸) の整備率)	最終目標値	2.7km (11.7%)	目標値と実績値に差が出た 要因	レベル1津波に対する施設整備に先立ち、整備高や景観に関する地元調整及び構造の検討に時間を要した結果、施設整備の進捗が遅延した。
		最終実績値	1.24km (5.4%)		
	指標② (海岸堤防の耐震化率)	最終目標値	0.9km (10.8%)	目標値と実績値に差が出た 要因	
		最終実績値	0km (0%)		
III 定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況					

3. 特記事項 (今後の方針等)

引き続き、交付金による各種事業の進捗を図り、地震・津波から命を守る海岸づくりを推進するものとする。

(様式6-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書

